2018年度上期（2018年4月～9月）商品活動レポート　～この間の商品改善や食の安全のとりくみ～

組合員さんの声から開発・改善した主な商品一覧

2018年度上期（４月～９月）で寄せられた声から実現した開発・改善は2,261件でした。主な商品を紹介します。

●商品の改善を行いました

- **CO･OPハトムギ入り爽やかブレンド茶ノンカフェイン600mL×24**
  段ボールケースの持ち手が真ん中になり、穴の形状も三角形にして持ちやすく（４月より）

- **CO･OP炭火やきとりもも串（たれ）**
  「８本入りなのに、調理方法がレンジで１本、３本、５本の調理となっており不便」の声をうけ、包材裏面に８本のレンジ調理時間を表示（４月より）

- **CO･OPミックスキャロット各種**
  おいしさはそのままに、にんじんの配合率を50%⇒55%に高め国産原料比率も83.5%にアップ（５月４回より）

- **CO･OP毎日食パン**
  「切数が複数あるが、どれも見た目が同じ」の声をうけ、パッケージのオビの色を変更（６月１回より）

- **国産豚しょうが焼用肩ロース**
  調理方法が記載された包材に変更し、解凍方法も分かりやすく表示（８月４回より）

- **しまほっけ一夜干し（骨とり）**
  「骨取りのほっけがあったらいいのに」の声をうけ開発。脂ののったおいしい部分を残すように骨は１尾ずつ手で取っています（９月３回より）

- **元気鶏　五目炊きこみごはんの素**
  ４月デビュー後、組合員さんアンケートをもとにリニューアル。①具材を10g増。②少～し濃いめの色に。③人参の煮くずれを改善。④包材裏面に２合炊で食べる場合を記載。（９月４回より）

- **関西風　あげが２枚のきつねうどん**
  CO･OP商品のうどんリニューアル後に「前の味がよかった」の声をうけ開発。全支所の職員が食べ比べをして麺･だし･揚げを決定（９月４回より）

●“組合員さんが求めている商品”を支所の担当者とともに開発しました

- **赤穂のたまごと北海道牛乳でつくったおうちプリン**
  寝屋川支所職員が、パルコープ・よどがわ生協で人気の「赤穂のたまご」と「北海道3.7生協牛乳」を使って、地元大阪のメーカー「ココラボ茶わん蒸し」でおなじみの太陽食品さんと一緒に開発（５月２回より）

- **関西風　肉うどんやで**
  枚方支所の職員が、枚方支所開発商品「牛丼の具」と同じ牛肉を使って開発。もっちりとした冷凍うどんに、かつおと昆布のすっきりだしに肉のほどよい甘みがマッチ。商品名も職員のアイデアをいかし大阪らしい名前に（５月４回より）

- **ミルクたっぷりヨーグルト**
  港支所の職員が、産直産地の牛乳を使ったヨーグルトを作りたいと開発。原料乳は「阿蘇やまなみ牛乳」のみ使用、生乳比率90%。ビフィズス菌BB-12を使った、甘さひかえめの加糖ヨーグルトに（５月５回より）

- **夏の大人の茶碗蒸し**
  平野支所の職員が食べ比べ、具材からラベルデザインまでを決定。大阪の夏に欠かせない「はも」など６種類の具材を入れて開発（６月２回より）

- **めっちゃジューシーなうちの餃子**
  家庭で作ったような粗挽き感のある餃子を開発。３支所（枚方・生野・都島）で吟味し、食べごたえのある１粒20gサイズであっさりとした味わいに（７月４回より）

●商品案内の紙面改善を行いました

- **切り花（シャクヤク）**
  「ツボミの状態でお届けします」を表記（６月３回より）
- **西京活メはも湯引き（からし酢みそ・梅肉付）**
  数量表記に「はも100g」を追加（８月５回より）
- **イチジク**
  お届け時にフィルムでまいていないことを紙面に記載（10月２回より）
- **ふわふわパンのブレッドナイフ**
  刃の拡大図をわかりやすく表記（10月２回より）

●新規商品の企画要望にこたえて企画しました

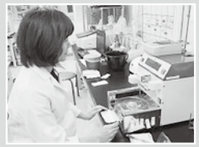
- **マルちゃん焼そば**（７月２回より）
- **くるみん**（７月３回より・パン）
- **ミルク生活**（７月３回より・粉ミルク）
- **理想のトマト**（８月２回より・トマトジュース）
- **国産野菜で作ったなめらかキューブ**（８月３回より・野菜ペースト）
- **ロイズ　抹茶アーモンドチョコ**（８月５回より）

食の安全のとりくみについて

●品質、安全確認のとりくみ

- 商品検査室では、2018年４～９月度で9,985件の商品検査を実施しました。新規取扱い品（2,206件）、店舗取扱い品や衛生検査（1,666件）などが増加しました。
- 組合員さん、取引先様などから８件の商品検査室見学のお申込みがあり、合計87名の方が見学されました。

残留農薬検査


たまご検査

●メーカー・産地との相互の信頼をつよめるとりくみ

- 組合員さんからの「商品の改善要望」を受けとめ、その問題点、原因を明らかにし改善要請をしています。（メーカー・産地訪問による協議を計17社実施しました）

●生産者と組合員さんとの交流・学習をすすめています

- 機関紙ぱるタイムやホームページでご案内している中央企画ツアーには、９月までで計118名の組合員さんとご家族が参加され、生産者のみなさんと交流しました。

JAいなば
田植え体験ツアー

訪問先	企画名	日程	参加人数
JAグリーン近江	田植え体験ツアー	５月12日（土）	31
JAいなば	田植え体験ツアー	５月19日（土）～20日（日）	30
なかむら農園	デラウェア収穫体験ツアー	６月16日（土）	42
美吉野農園	梅干し作り体験ツアー	６月23日（土）	15

※大雨と台風の影響により「紀ノ川農協収穫体験ツアー」、「岡山モーモーツアー」は中止になりました。
※物流センター見学ツアー（２回）は地震の影響で中止になりました。

- パル委員・地域活動委員・組合員活動委員会メンバーを対象に、迎春商品学習会（10月２日、237名参加）を開催しました。地域の活動につなげています。